

東日本大震災で被災した 子どもたちのためのイオンの取り組み

AEON



■被災した子どもたちのため寄付金
約1億2160万円を贈呈
イオン(本社・千葉市美浜区岡田
元也社長)は、東日本大震災で被災
した岩手県・宮城県・福島県に対
し、店頭での募金と『東北応援「イ
オン 幸せいの黄色いレシートキャンペ
ーン』による拠出金など、合計約
1億2160万円を贈呈した。

この寄付金は、各県の子どもた
ちの未来を支援する「いわての学び
希望基金」「東日本大震災みやぎこ
ども育英募金」「東日本大震災ふく
しまこども寄附金」を通じて、子

どもたちの生活や就学の支援に役
立てられるという。イオンのこの取
り組みは2012年から毎年継続
しているもので、今回の寄付金を合
わせ、これまでの寄付額合計は約
7億1930万円にのぼる。

また、九州地区では、2016年
4月に発生した「平成28年熊本地
震」の被災者を応援する、『東北・
熊本応援「イオン 幸せいの黄色いレ
シートキャンペーン』を昨年に続い
て実施。熊本県に同キャンペーン等

による寄付金約1030万円を贈
呈し、2年間の同県への合計寄付額

は1920万円となつた。

今回の取り組みのベースとなる

『東北応援「イオン 幸せいの黄色い
レシートキャンペーン』は3月9日

から11日に実施したもの。イオンで

は、2001年から毎月11日の「イ

オン・デー」に「イオン 幸せいの黄色い
レシートキャンペーン」を継続して

いる。この日は、レシートが黄色に
なり、店舗ごとに設定した地域のボ
ランティア団体等のなかから、応援

ボックスに買物客が自らレシートを
投函する。そのレシート合計金額の



東北応援「イオン 幸せいの黄色いレシートキャンペーン」
店頭での実施風景

1%相当の品物をイオンから各団体に贈呈するという取り組みだ。

■東北の復興・創生に向けた支援を
継続

向けアミコースメント施設を運営する(株)イオンアンタジーの店舗で3月に実施した「ファンタジースマイルデー」あそんで募金」、ミニストップ(株)のソフトクリーム売上の一部、イオントップバリュ(株)の2018年用年賀状印刷の売上の一部、電子マネーの「東北復興支援WAON」の利用総額の一部が含まれている。

震災後の2012年からは、3月の同キャンペーⁿンを3日間に拡大して実施し、東北の子どもたちのために寄付している。本年は全国のグループ約2100店舗で実施した。

一方、イオン労使合同の取り組みとして2012年に立ち上げた「イ

A WAON card with a yellow background. In the center, there is large, stylized Japanese text "わんこきょうだい 岩手!" (Wankokyoudai Iwate!). To the right of the text is a small illustration of a character wearing a red beret and a striped shirt. The top left corner contains the text "東北復興支援 WAON" and "へ子どもの未来のためにへ". The top right corner features the WAON logo.

「がんばろう岩手！ 東北復興支援WAON」

28万4444人がボランティア活動に参加、植樹本数は累計25万3009本となつた。

ティア活動 東北沿岸部での合計30万本の植樹活動を実施することを目指している。2017年

は、2021年までの10年間に、のべ30万人の従業員によるボラン

施や、全国のグループ会社がそれぞれの拠点で行う支援活動等を含め、



「がんばろう宮城！ 東北復興支援WAON」

3県8地域で、地域住民と従業員の大槌町、遠野市米通地区)、宮城県(気仙沼市大島、丸森町耕野地区、南三陸町)、福島県(浪江町・二本松市、南相馬市小高区、鏡石町)の

シユクト」のもとで2016年にスタートした「イオン未来共創プログラマム」では、持続可能なコミュニティの再構築を目指す取り組みが実施されています。

3万人がボランティアに参加する」とを目指している。

交流を通じた課題解決に取り組んでいくという。



「がんばろう福島！ 東北復興支援WAON」